試　験　（諮問）の　結果要旨	
学位申請者 氏　　名	たむら　よしこ 田村　美子
論文題目	重症心身障害児の母親のレジリエンスの影響要因 Factors that influence resilience of mothers who raise children with severe physical and mental disabilities
論文審査担当者名	主　　査　　船津　守久　印 審査委員　　片上　宗二　印 審査委員　　池田　智子　印 審査委員　　田中　丈夫　印

審査委員会を 2019 年 1 月 31 日（木）に実施し、学位論文提出者に対して当該論文の内容および研究結果、研究課題等について口頭諮問を行った。

主査である船津から、学位申請に至る全体的な経過を説明し、研究発表・論文数など申請に必要な条件を満たしていることを確認した。

提出された論文の内容について説明を聴いた後に、以下の諮問を行った。

第 2 章のレジリエンスの影響要因について質問がなされた。母親のレジリエンスの影響要因の概念図について、ソーシャルサポートとレジリエンスの影響について質問が行なわれた。それに対して、申請者からソーシャルサポートとレジリエンスの相互関係について説明した。

第 3 章の単語出現頻度、単語の分類について質問がなされた。肯定的・否定的な概念の中で、データが少ないものでも影響の大きいものはないか、単独でも意味のあるものはないかなどの質問がなされた。それらに対して、データに即して適切に説明した。

第 4 章では、線経路・等至性モデルの図について、母親が人生において選択した径路、選択しなかった径路についての意見が寄せられた。

第 5 章の未来志向に変化するプロセスについての質問があり、具体的に説明した。

第 7 章の求援力について、前章の結果とのつながりを明確にし、重症心身障害児の母親のレジリエンスを獲得するプロセスや研究の意義がより伝わるよう意見が寄せられた。研究対象者、インタビュー内容についての質問がなされ、適切な説明を行った。

第 6 章の調査での尺度を使用した理由を明確にするよう意見が寄せられた。今後、重症心身障害児に特化した尺度開発をするよう意見が寄せられた。重症心身障害児に特化した尺度の開発を行っていくことを今後の課題として取り組んでいくこととした。

第 7 章の母親のサポートを求める求援力のモデル図について、求援力の意義と具体的なサポートのあり方について質問と意見が寄せられた。求援力についての明確な説明がなされた。また、母親の求援力を支えていくためのサポートについての説明がなされた。

口頭試問は質疑応答など60分に亘って行われた。各委員の質問に対し、申請者は具体的に適切な受け答えをしていた。レジリエンスの影響要因として「求援力」が新たな知見と見出された。この成果は現在、同じような子育てをしている重症心身障害児の母親に希望を見出し役立つことができ、社会全体に理解を深める意味でも大きな意義がある。今後は、重症心身障害児に特化した尺度の開発と、子育てをしている母親への具体的な支援方法を構築していこうとしており、今後の研究が大いに期待される。

外国語試験では、下記の３編の論文について、和訳試験を行なった。

1．Hued C(2004) A teenager revisits her father's death during childhood: a study in resilience and healthy mourning, Adolescence, 39(154), 337-354.

2．Kim M. Anderson, Eun Jun Ban (2012) Assessing PTSD and resilience for females who during childhood were exposed to domestic violence, *Child & Family Social Work February*, 17(1), 55-65.

3．A. Woodman & P. Hauser Cram(2013) The role of coping strategies in predicting change in parenting efficacy and depressive symptoms among mothers of adolescents with developmental disabilities, *Journal of Intellectual Disability Research*, 57(6),1513-1530.

外国語試験結果で、十分な外国語能力があるものと判断した。

以上の結果に基づき、審査委員会は論文提出者に対する最終試験を合格と判断した。